

「多因子間相互作用解析による腫瘍評価法の開発」に関する研究

1. 研究の対象

- 泌尿器科でがんと診断され生検や手術を受けた患者さん
- 「尿路性器癌に対する新たな診断マーカー・治療標的分子の探索に関する研究」に同意をいただいた患者さん
- 同意取得時の年齢が20歳以上である患者さん

2. 研究目的・方法

がん細胞や免疫細胞はその表面にそれぞれ特徴的な分子を出しています。それらの分子同士が相互に作用しあって、がんの進展やお薬の効き具合に関係していることが知られています。この分子どうしの相互作用はとても複雑ですが、これまでの方法では1対1でしか見ることはできませんでした。この複雑な分子どうしの相互作用を、より詳しく知ることができれば、がんの状態やお薬の効き具合を予測することが可能になるかもしれません。この研究では、がん細胞や免疫細胞の表面に出ている分子どうしの相互作用をより詳しく見る手法を確立することを目的としています。

そこで、泌尿器科でがんの手術を受ける患者さんに対して、診断で用いた余りの試料を提供いただくご協力をお願いしています。いただいた試料を用いて、がん細胞や免疫細胞の表面に出ている分子どうしの相互作用を解析します。この研究は、2027年12月末まで行われます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号 等

試料：生検や手術で取り出した組織の一部

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座（泌尿器科学）・講師・波多野 浩士

住所：大阪府吹田市山田丘2-2

連絡先：06-6879-3531